

平成 26 年 10 月吉日

研究者各位
研究機関各位

乳の学術連合
牛乳乳製品健康科学会議
代表幹事 折茂 肇
乳の社会文化ネットワーク
代表幹事 和仁 皓明
牛乳食育研究会
代表幹事 角屋 重樹
一般社団法人 J ミルク
会 長 浅野 茂太郎

平成 27 年度「乳の学術連合」学術研究公募のご案内

謹啓 紅葉の季節、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は、当研究会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「乳の学術連合」では、牛乳乳製品の価値向上に繋がる多種多様な情報を広く社会に発信する為、“平成 27 年度「乳の学術連合」学術研究”として、一般社団法人 J ミルクと共同し、構成組織である「牛乳乳製品健康科学会議」「乳の社会文化ネットワーク」「牛乳食育研究会」それぞれの分野に係る学術研究を下記の通り、広く公募することとなりました。

つきましては、公募の趣旨および要領をご理解頂き、「乳の学術連合」学術研究公募への積極的なご参加ならびに関係者各位の御承引を戴きますようお願い申し上げます。

謹白

記

I. 平成 27 年度「乳の学術連合」学術研究

組 織	分 野	研究対象
牛乳乳製品健康科学会議	「牛乳乳製品健康科学」	牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題
乳の社会文化ネットワーク	「乳の社会文化」	乳の社会文化価値
牛乳食育研究会	「食に係る教育」	食に係る教育の新たな知見

II. 公募期間

平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 26 年 12 月 31 日（水）

III. 学術研究公募内容

各分野の公募内容については、別紙 1～3 をご参照ください。

IV. 同封物

- ①「乳の学術連合」学術研究の公募ポスター：総合版（A3）

- ②「牛乳乳製品健康科学」学術研究の公募チラシ（A4）
- ③「乳の社会文化」学術研究の公募チラシ（A4）
- ④「食と教育」学術研究の公募チラシ（A4）

＜乳の学術連合＞

我が国における牛乳乳製品の消費の維持・拡大及び酪農乳業と生活者との信頼関係の強化を図っていく観点から、牛乳乳製品の価値向上に繋がる多種多様な情報を「伝わり易く解かり易い表現」として開発し、業界関係者及び生活者に提供することを目的とした健康科学分野・社会文化分野・食育分野の専門家で構成する組織の連合体です。（一般社団法人Jミルクの外部連携組織）

※健康科学分野組織＝「牛乳乳製品健康科学会議」、社会文化分野組織＝「乳の社会文化ネットワーク」

食育分野組織＝「牛乳食育研究会」

＜事務局・お問い合わせ先＞

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル5F

一般社団法人Jミルク 内「乳の学術連合」事務局 担当:豊澤 誠一郎

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail s-toyosawa@j-milk.jp

I. 「牛乳乳製品健康科学」 学術研究の公募について (牛乳乳製品健康科学会議)

「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究

1. 募集 (申請) 期間

平成 26 年 11 月 1 日 (土) ~平成 26 年 12 月 31 日 (水) 必着

2. 募集テーマ・内容

	研究テーマ	内 容
特定研究		
①	運動・スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究	運動・スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義について、幅広い内容にて研究を公募する。特に、発育期のスポーツやアスリートにおける牛乳乳製品の意義、高齢者の運動機能 (体力、骨粗鬆症、サルコペニアなど) に対する牛乳乳製品単独または運動との相加・相乗効果に関する研究 キーワード: 発育期、アスリート、高齢者、運動、スポーツ
②	牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究	牛乳・乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、牛乳を摂取した際の免疫指標の変化に関する網羅的、探索的な研究や、単一の牛乳成分についての研究も対象とする。ただし、乳酸菌、プロバイオティクスに関する研究は対象としない。 キーワード: 牛乳、牛乳成分、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、アレルギー、感染防御、抗炎症
③	牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究	牛乳乳製品による「抗ストレス」「抗疲労」「抑うつ」などの効果に関する研究。 キーワード: 抗ストレス、抗疲労、抑うつ、睡眠、リラックス
一般研究		
④	各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品-妊娠期、授乳期を含む各ライフステージにおける検討	各ライフステージについて、基礎研究を含め幅広い内容にて研究を公募する。特に、妊娠期や授乳期における牛乳乳製品の効果についての研究。 キーワード: 妊娠期、授乳期、幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期

上記研究への申請のうち 10 件程度を採用して研究者等を決定する。

3. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究

機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

4. 委託研究期間

原則として、1年を超えないものとする。

但し、研究の内容によっては、最長3年間まで認めるが、1年以上の期間の研究を申請する場合は、全機関にわたる研究計画・支出計画を申請書に明確に記す。

なお、年度ごとに中間報告を行い、成果が認められない場合は、委託研究の中止が求められる場合がある。

5. 委託金額

年間一件当たり原則として150万円(消費税込)以内とする。

なお、複数年度の研究においては、研究年度×年間委託研究費を上限額とする。

6. 選考方法

「牛乳乳製品健康科学学術研究選考委員会」が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

＜選考委員会＞

(五十音順)

委員長	折茂 肇 (骨粗鬆症財団理事長)
選考委員	大日向 耕作 (京都大学大学院農学研究科 准教授)
選考委員	川原 貴 (国立スポーツ科学センター センター長)
選考委員	桑田 有 (人間総合科学大学大学院 教授)
選考委員	清水 誠 (東京農業大学応用生命科学部栄養学科 教授)
選考委員	下条 直樹 (千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授)
選考委員	中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学学長)
選考委員	細井 孝之 (医療法人財団健康院クリニック 副院長)

7. その他

詳しい内容は、下記 Web より＜学術研究実施要領＞をダウンロードしてご確認下さい。

＜一般社団法人Jミルク ホームページ＞ <http://www.j-milk.jp/>

＜牛乳乳製品健康科学会議＞

牛乳乳製品の栄養健康機能に係る学術的エビデンスを研究検証し、研究活動を通じて日本人の健康増進に貢献することを目的として、平成24年3月に設立した健康科学分野の研究者で組織される一般社団法人Jミルクの外部連携組織。代表幹事 折茂肇 (骨粗鬆症財団理事長)。

＜事務局・お問い合わせ先＞

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル5F

一般社団法人Jミルク 内「牛乳乳製品健康科学会議」事務局 担当:高野 義彦

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail y-takano@j-milk.jp

II. 「乳の社会文化」 学術研究の公募について（乳の社会文化ネットワーク）

「乳の社会文化価値」に係る学術研究

1. 募集（申請）期間

平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 26 年 12 月 31 日（水）必着

2. 募集テーマ・内容

（1）特定研究

	テーマ	内 容
①	牛乳・乳製品のマーケティング	牛乳・乳製品に関して需要拡大や価格改善に通じるマーケティング研究。例えば、消費者における価値創造、コミュニケーション革新、店頭 マーケティング革新、流通チャネル革新、プライシング等に関する研究など
②	乳及び乳製品の食生活への受容	牛乳・乳製品の食生活への受容の歴史的研究、受容の現状と課題に関する分析、今後の食生活への受容の取り組みに関する研究など

（2）一般研究

	テーマ	内 容
③	乳及び酪農乳業に関する社会的文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意義、日本人の食生活の歴史的变化との関わり、わが国の酪農乳業の社会経済的な意義など（他の国や民族との比較研究を含む）

上記（1）、（2）の研究への申請のうち 8 件程度を採用して研究者を決定する。

注）「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳・乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

3. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

4. 委託研究期間

原則として、1 年を超えないものとする。

5. 委託金額

年間一件当たり原則として 100 万円(消費税込)以内とする。

6. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<審査委員会>

委員長	生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）
副委員長	和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）
委員	上田 隆穂（学習院大学経済学部経営学科教授）
委員	大江靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科教授）
委員	江原絢子（東京家政学院大学名誉教授）
委員	小長谷有紀（大学共同利用機関法人人間文化研究機構理事）
委員	細野明義（（公財）日本乳業技術協会代表理事）

（五十音順）

7. その他

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<一般社団法人Jミルク ホームページ> <http://www.j-milk.jp/>

<乳の社会文化ネットワーク>

乳の利用と酪農乳業の発展に関する社会的文化的な研究を通して、わが国乳文化の創造に積極的に貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。

代表幹事 和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）、副代表幹事 生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）平成 24 年 4 月設立。

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル 5F

一般社団法人Jミルク 内「乳の社会文化ネットワーク」事務局 担当:豊澤 誠一郎

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail s-toyosawa@j-milk.jp

Ⅲ. 「食と教育」学術研究の公募について（牛乳食育研究会）

「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

1. 募集（申請）期間

平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 26 年 12 月 31 日（水）必着

2. 募集テーマ・内容

(1) 特定研究

No	テーマ
1	「食に関わる教育活動」における「乳」活用の意義に関する理論的研究
2	「食に関わる教育活動」における教育効果の評価法の開発
3	集団給食(保育所・小中学校等)の現代的意義と価値に関する研究
4	国内外の「乳」を取り込んだ食に関わる教育活動の比較研究
5	ライフステージ(特に、乳幼児、青年期、高齢期など)に対応した「乳」を取り込んだ食に関わる教育のプログラムの開発と評価

(2) 一般研究

No	テーマ
6	「乳」に関する教育的視点からの研究

上記うち 8 件程度を採用して研究者等を決定する。

※ここで言う「乳」とは、「食品としての牛乳・乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指す。

3. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

4. 委託研究期間

原則として、1 年を超えないものとする。

5. 委託金額

年間一件当たり原則として 100 万円(消費税込)以内とする。

6. 選考方法

審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

＜審査委員会＞

委員長	角屋重樹(日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)
副委員長	田中博之(早稲田大学教職大学院 教授)
委員	石井雅幸(大妻女子大学家政学部児童学科 准教授)
委員	児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学 教授・学科長)

委員	長島美保子(公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長)
委員	鈴木由美子(広島大学大学院教育学研究科 教授)
委員	木村純子(法政大学経営学部 教授)

7. その他

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<一般社団法人Jミルク ホームページ> <http://www.j-milk.jp/>

<牛乳食育研究会>

乳の特徴を活用した食と教育の研究活動を通して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得、食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みをもって、生活者が生涯を通じて心豊かで健康的な生活を実現することに貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年10月設立。

代表幹事 角屋重樹 (日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル5F

一般社団法人Jミルク 内「牛乳食育研究会」事務局 担当:林 雅典・関 芳和

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail:m-hayashi@j-milk.jp

以上